

大河原町 議会だより

第133号 平成26年11月1日

勝利を我らに

大河原町立大河原中学校



夢にチャレンジ
(大河原中学校新人戦激励会)

平成25年度決算状況	②③
決算審査特別委員会審議	④⑤
町政への提言	⑥
議案審議(8月・9月会議)	⑬
常任委員会調査	⑬
議決責任の明確化	⑬
その後どうなったあの提言	⑬

8.5%増の142億円

77億9,875万円

一般会計

第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成25年度各種会計決算の認定の他17件の提案を慎重に審査し、すべて認定、可決している。

一般質問では、9議員、総括質疑では2議員が発言し、疑問点を問いただしている。

依存財源 54.3%

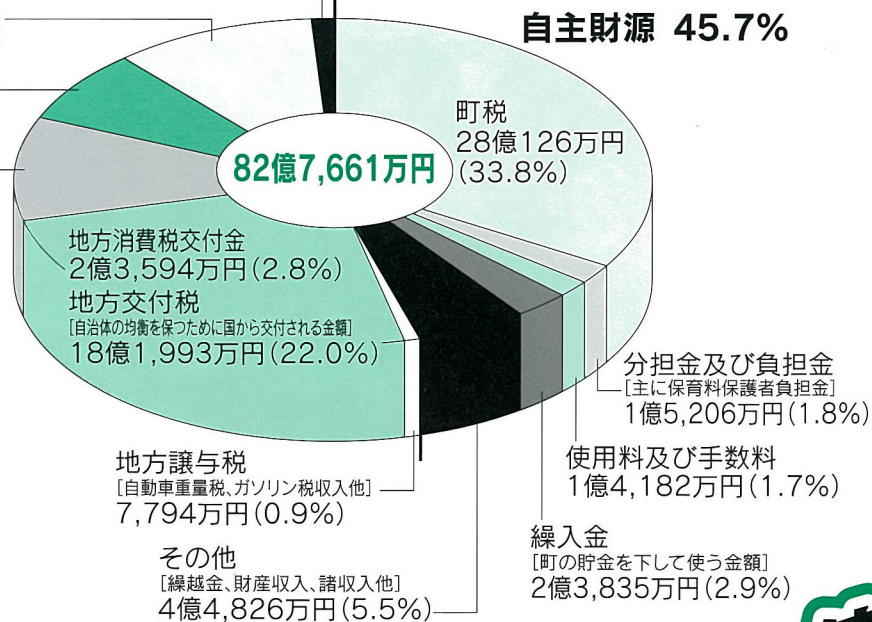
その他 7,587万円(1.0%)

借入金(町債)
8億4,960万円(10.3%)

県支出金
6億230万円(7.3%)

国庫支出金
8億3,327万円(10.1%)

収入



諸支出金 340万円(0.0%)

公債費 5億5,412万円(7.1%)

災害復旧費
1億2,389万円(1.6%)

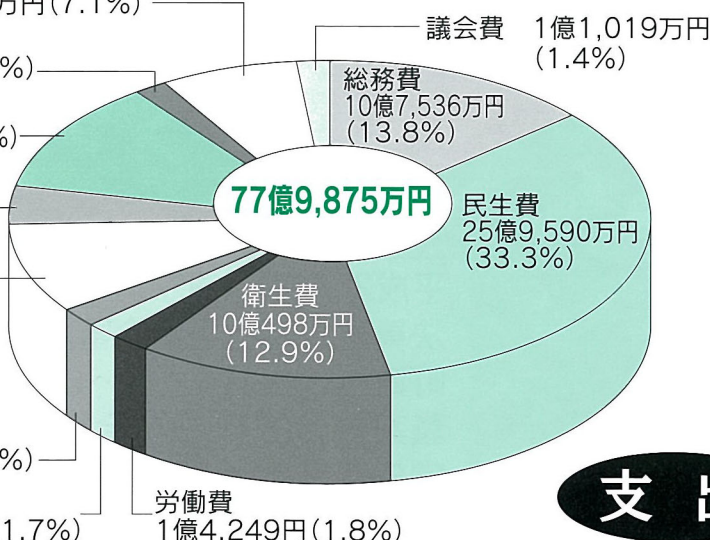
教育費
8億8,859万円(11.4%)

消防費
2億9,714万円
(3.8%)

土木費
7億1,790万円
(9.2%)

商工費
1億5,367万円(2.0%)

農林水産費
1億3,112万円(1.7%)

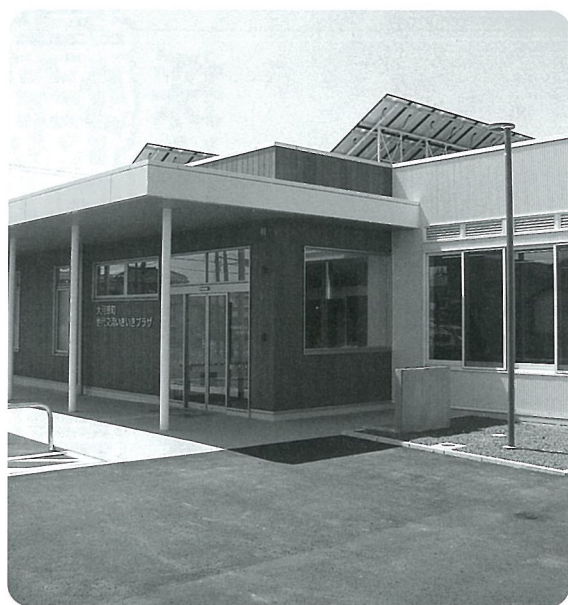


支出

町民一人あたり33万円
使われました

決算規模は前年度比 一般会計 前年度比 7.3%増の

財政状況の健全化 確実に前進



▲世代交流いきいきプラザ

財政健全化判断比率の状況

(単位:%)

区 分	平成25年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	30.00
実質公債費比率	3.8	25.0	35.0
将来負担比率	28.7	350.0	

赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)

実質公債費比率とは町の財政規模に対する公債費の割合

将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合

早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

7会計歳出決算額

(単位:万円)

会 計 名	決 算 額	前年度比較
一 般 会 計	77億9,875万円	7.3%
後期高齢者医療特別会計	2億2,553万円	0.6%
国民健康保険特別会計	23億1,135万円	5.1%
介護保険特別会計	12億 472万円	2.6%
地方卸売市場事業特別会計	363万円	22.7%
公共下水道事業特別会計	18億 474万円	34.8%
水道事業会計	8億4,793万円	8.5%
合 計	141億9,665万円	8.5%

決算審査特別委員会審議

採決の結果原案通り認定



▲役場リサイクルステーション

示してほしい。

問 データは一括して県が管理している。今後はそれぞれのデータを町として独自に管理するよう努める。

問 保育士処遇改善特例事業費補助金685万円の内訳と効果は。

答 3ヶ所の私立保育園への補助金で、これにより保育士の給与がアップされた。

問 桜保育所では障がい児保育を実施しているが、正職員を補充しなくても運営に支障はでなかったのか。

答 状況を踏まえ翌年、今年度より正職員を補充し、態勢を整えた。

問 介護認定調査員の身分は臨時職員の扱いとなっている。職員確保のために処遇改善をすべきではないか。介護保険協会にもお願い

いして職員確保に努めている。今後は身分の保証も併せて検討する。

問 世代交流いきいきプラザに設置された太陽光発電システムは年間どれだけの電気料金の節約につながるのか。

答 東北電力と系統の連携がまだ図れていない状況である。年間の節約の正確な効果については次年度示すことで理解いただきたい。



▲世代交流いきいきプラザ

問 稗田前地区の排水路改修事業で新たな大型排水ポンプが1100万円で新設された効果と実績はどうか。

答 ポンプそのものの性能が約2倍となり時間雨量20m程度での浸水は大きく緩和された。幸い記録的な大雨に新設後見舞われていないので今後もパトロールを強化して対応を検討する。

総括質疑

大沼 忠弘

問 委託料、負担金等毎年同様に計上されるもので、おおよその金額の見当がつくもの、決まっているもので不用額が発生している要因はなにか。委託料等の契約時の交渉は行っているのか。予算組みの来年度以降の考え方は。

答 要因としては予算要求

が精査に欠くものと考えている。委託料等の金額交渉は増額の提示もある中で、現状維持の額に交渉している部分はある。新年度の予算編成は見積書を確認、契約金額の交渉も進める中で精査を行っていく。

万波 孝子

問 町政運営で最も大切にできたことは何か。

答 公正・公平・クリーン、町民の声を大切にする政治。

問 公金横領事件に関し、徴収嘱託員廃止の時期は。

答 収納窓口の民間委託やコンビニ収納等を検討し、整備後。

問 高すぎる国保税。約2億もある基金を取り崩して国保税を引き下げる考えは。

答 国保運営計画(28年度〜30年度)作成時に考える。

問 生活困窮者を救済する減免制度を冊子作成で周知を。

答 納税通知書等送付時に周知している。冊子の必要はない。

問 東部地区の中島公園等において地域の方々の手を借りて主に除草作業が行われているが、刈り取った草の撤去が遅いとの声が出ているが町側に認識はあるか。

答 公園サポーターの皆様には感謝している。今後は撤去等の要請があれば万全の対応をしていく。伸びすぎた樹木等の苦情についてもパトロールを強化していきたい。

問 金ヶ瀬小学校・中学校の図書充足率が昨年度より10%程度低下したが、要因はなにか。

答 学校図書司書の管理が行き届くようになり、使えなくなった図書が整理されたことにより低下した。

問 教員補助者を8名から11名に、学校図書司書を1名から2名へと増員を図った効果は。

答 各学校の円滑な運営につながった。図書司書については、図書管理の急速な改善が図られた。今後も継続を考えていく。



▲学校図書司書

問 学び支援制度が開始されたが、年間の生徒の参加状況はどうだったか。

答 平日の放課後と、月に二回土曜日に大学生等の支援を受け、生徒の学力向上に取り組んだ。述べ2500名の利用者があつたが、土曜日については極端な利用者の減がみられた。

問 社会を明るくする運動について式典の時間があまりにも長く鼓笛隊として待機する児童の負担が大きい。挨拶を紹介に変えるなど渋滞緩和への配慮も併せて簡略化を図るべき。

答 様々な工夫を凝らしながら、何とか式典の短縮を図っていきたい。

問 毎年成果説明書には数字の入れ替えと、日付が変更されただけのページが多い。中には予算の執行をみない努力目標の箇条書きもみられる。成果説明書のあり方について根本的に見直すことも徐々にではあるが検討すべき。

答 真摯に受け止め、今後は記載のあり方も工夫していく。予算執行のあつたものを記載するよう努める。



▲西地区交流センター造成工事

〔反対討論〕

万波 孝子

道の駅計画の撤回、町長など特別職の給与削減等は評価する。しかし、実現不可能な住民税一律5%減税公約は町民を失望させ、町政運営に混乱を招いたこと、さらに有権者の声を大切にする政治を掲げていながら、議会や町民に説明もせず、一方的に絵本のへやを突然廃止したことは、町長の町づくりの理念に反する行為であること。公金横領事件を受け、収納窓口の民間委託導入の方向のようだが、個人情報を守るためにすべきではない。

丸山 勝利

選挙公約で1年以内に実現すると町民に対し約束したものが反映されず、町長としての最優先課題に對しての努力のかけらも見られない。公金横領事件では、9月議会において当事者の弁済計画もなく回収の見通しもないにもかかわらず、町民の税金を投入し、未回収のまま現在に至っている。以上のことから、決算に反対する。

〔賛成討論〕

堀江 一男

2名の議員から反対討論が出ましたが、基本決算というものは予算が適正に執行されたかを審査するものと強く考える。町長の姿勢等は予算の時点で議論されるべきであり、この決算は監査意見書にも述べられたとおり適正と認められるので、議員各位の賛同を望む。

岡崎 隆

一部の指定管理において今後改善の必要なものがあつたが、監査の意見書も添えられ不用額についての指摘もみられたが、平成25年度の予算は適正に支出された。数名の反対が出るようであるが、町民本位の立場で一人でも多くの議員の賛同を求める。

枅 和也

平成25年度決算書、成果説明書及び監査委員より提出があつた審査意見書をもとに審査した結果、不用額の多く出た款も見受けられしたが、平成25年度の予算執行が適正に、また成果に大きな不備もないことから賛成するものである。

一般質問

町政への提言
Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回9人の議員が行った。

高橋 芳男 P⑦

- 雨水利用促進を急げ
- ヘルプカードの導入で安心して外出
- スマートフォンアプリの開発で地域情報等の提供を
- 健康マイレージ導入で健康づくりの推進を(掲載外)

堀江 一男 P⑧

- サービス付き高齢者向け住宅の建設を

枡 和也 P⑨

- 少子化対策・子育て世代支援の拡充を
- 土砂災害への対策は

大沼 忠弘 P⑩

- 防災士資格取得推進・支援で防災力強化を
- 読書による教育並びに生涯学習の環境整備を

佐藤 貴久 P⑪

- 町民学園の事業内容に疑問がある

万波 孝子 P⑫

- 「非核・平和の町」を宣言している町として
- 10年前に開設した絵本のへや、廃止ではなく存続を
- 介護保険「保険あって介護なし」にさせないための町の支援策は(掲載外)

丸山 勝利 P⑬

- 絵本のへやの存続の再考を強く望む

須藤 慎 P⑭

- 小中学校トイレを早急に洋式化へ
- 広島市土砂災害を受けて
- 入湯税を利用して消火栓設置を

岡崎 隆 P⑮

- 鷺沼排水区事業の再精査を急げ
- 町民学園の制度設計と開校後の発展的な取り組みを示せ(掲載外)

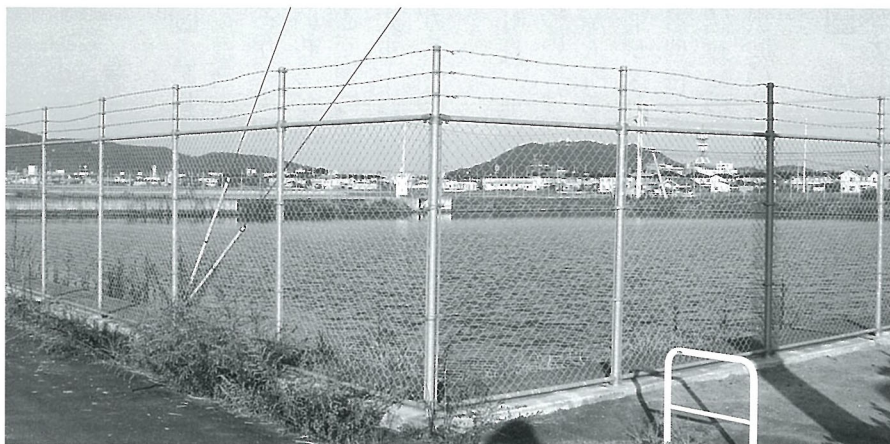




たかはし 芳男
高橋 芳男

問 雨水利用促進を急げ

答 費用対効果を考慮し検討する



▲広表地区の調整池

問 「雨水利用推進法」「水循環基本法」が施行された。市町村は、国県の方針に即して計画を定め、自らの雨水利用の為に施設設置に関する目標設定と公表が求められている。雨水タンクは近年頻発する集中豪雨への対策としても有効であり、今後、新設及び大規模改修が行われる建築物に貯留タンクの設置を図るべきと考えるがどうか。

町長 雨水の貯留は有効な手段と考えるが、貯留タンクの設

置は改修等の費用が増大する。費用対効果を考慮し

ながら、どんな方法が良いのか考えていきたい。

ヘルプカードの導入で

安心して外出

問 ヘルプカードとは、障がいのある方が緊急時や災害時に周囲の方の手助けを必要とする場合に、提示し、支援をお願いしやすくするものである。既に導入している自治体では「安心して外出できる。」との声も聞く。カード導入の考えはあるか。

町長 現在、災害時のために高齢者、障がい者を対象にした要援護者台帳の整備や高齢者救急安心カード事業を行っているが、関連付けながら、実施する方向で関係団体等と協議していく。

スマートフォンアプリの開発で

地域情報等の提供を

問 先進地域鯖江市の取り組みはオープンデータとして行政の持つ持っている情報を積極的に提供、東京都杉並区では防災マップなどの情報もスマートフォン向けに提供、愛媛県松山市では観光・防災・健康の3つの分野を一括して利用できる。当町も取り組むべきである。

町長 オープンデータの公開はICT(情報通信技術)の活用及び情報公開の一環として積極的に取り組みたい。スマートフォンアプリの開発は、先進自治体の取り組み等を参考にしながら、費用対効果を含め研究していく。

一般質問

問 サービス付き 高齢者向け住宅の建設を

答 施設の誘致に取り組む



ほり え かず お
堀江 一男



一般質問

第6期介護保険事業計画をどのような方針で策定する考えなのか。

問 町長の公約に町立特別養護老人ホームの建設とあるが、現実問題として厳しいものがあると考えます。そこで地域密着型特別養護老人ホームの誘致を考えた方がよいのではないかと。

町長 地域密着型の施設については、本町の町民だけが入所でき、入所待機者解消が図れることから地域密着型特別養護老人ホームの誘致については、有力な選択肢の一つと考えています。

問 法改正により、各町でのサービス格差が出てくる

と思われるがどのように考えるのか。

町長 新たに各市町村が社会資源等を活用し独自に地域の特性にあつたサービス展開できるものと考えており、この部分においてサービスの特色により違いが出ることはやむを得ないものと考えています。本町においても特色のあるサービスが提供できるよう考えていく。

問 角田市に「サービス付き高齢者向け住宅」が開設された。大河原町の町民も何人か入所していたが、施設は立派で、サービスも充実しているように思いますが、利用料金が若干高く、国民年金だけの受給者には

無理がある。町にもこれに似た施設はあるが、もともと低額で利用できるような高齢者向け住宅建設の考えはないか。

町長 角田市に所在するサービス付き高齢者向け住宅は、土地と建物のオーナーが施設の運営会社と賃貸借契約を結び運営する形態である。町が生活相談や

緊急時の対応等を付加した、高齢者向け町営住宅の設置事は加美町が建設を予定している。現状では、財政面などから、在宅介護が低額で利用できる高齢者向け住宅を町で建設することは、難しいものと考えており、施設の誘致に取り組んでまいりたいと考えています。



▲サービス付高齢者向け住宅（角田市）



ます 和也
かす や

問 少子化対策・子育て世代支援の拡充を

答 子ども・子育て支援事業計画の中で検討中



▲子育て支援センター

一般質問

問 前回質問から一年三カ月の間具体的な少子化対策など検討されたのか。

平成25年6月定例会でも少子化対策の一環で第三子以降出生時祝金など近隣市町の事例も上げ質問した。また国でも平成26年の経済諮問会議の中で少子化危機対策として第三子以降の出生・育児・教育への重点的な支援に取組むとも打出した。町長は日本創成会議が試算発表した2040年896市町村が消滅というショッキングな数字に当町が含まれていないことに安堵したと思う。いずれ近い将来減少する時期が来る。今後の対策を問う。

町長 本年度より「大河原町家族に優しい働き方支援助成」事業を実施している。子育ての当事者などの意見を聞く「子ども子育て会議」において、子ども子育て支援事業計画を策定している。

問 当町の土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定は。

町長 警戒区域及び特別警戒区域が9区域、警戒区域が3区域の計12区域が指定されている。

土砂災害への対策は

問 広島市の土砂災害を受け避難勧告、避難指示発令基準や防災マップの大幅な見直しが必要と考えるが。

町長 地域防災計画の見直しに合わせ新たに作成する。

問 敬老祝い金があるように、子育て世代にも出生時祝い金があっても良いと思うが。

町長 子育て世帯へのアンケートの結果、保育所等の費用負担の軽減、養育費用等の補助の回答が多く、一

問 子育て中の親が集い、親子を対象にした事業「例えば子どもアートフェスティバル」の開催等に、町の支援制度を設置してはどうか。

町長 児童館や児童センターを拠点として活動する子育てサークルに対し、地域組織活動補助金を設け支援を行っている。今後も子育て世代を対象とした支援体制を強化していく。

町長 本年度より「大河原町家族に優しい働き方支援助成」事業を実施している。子育ての当事者などの意見を聞く「子ども子育て会議」において、子ども子育て支援事業計画を策定している。

町長 本年度より「大河原町家族に優しい働き方支援助成」事業を実施している。子育ての当事者などの意見を聞く「子ども子育て会議」において、子ども子育て支援事業計画を策定している。

問 防災士資格取得推進・ 支援で防災力強化を

答 その考えはない



おお ぬま ただ ひろ
大沼 忠弘



▲ポンプ操法統一訓練

一般質問

問 学校、児童施設の教職員に防災士資格取得を推進する考えはないか。

教育長 防災管理者や防災主幹教諭を配置する事で防災に当たっている。

問 消防団・婦人防火クラブにも推進し、取得費用を補助するなどの考えは。

町長 消防署が主催する各種講習や県の防災指導員養成講座の受講を進める。

読書による教育並びに 生涯学習の環境整備を

問 幼稚園、保育所での本に触れる機会の提供は十分か。

教育長 各施設に絵本が整備されている。

問 各学校の図書室の配置、環境、充足率は。司書は十分機能しているか。

教育長 配置も含めいづれも読書に適した環境づくりに努めているが、空調設備は金ヶ瀬小のみ設置。司書は大小、大中2校兼務で1名、南小、金小、金中の3校兼務で1名が作業を行っている、各学校から役立っていると評価されている。

問 現在の「絵本のへや」を廃止するとしても、核となる場所の確保、環境整備が必要ではないか。

町長 核となる場所は駅前図書館本館であり、これまで通り継続していけると考えている。

問 空き家、空き店舗の活用で「絵本のへや」の場所を確保する事は選択肢に入

らないか。

教育長 選択肢の一つにはなり得る。

問 駅前図書館の自習スペースの確保はどう考えているか。

町長 公民館や他の施設での対応等、慎重に検討する。

問 駅前図書館に雑誌スポンサー制度の導入の考えは。

町長 今後検討していく。

問 電子書籍導入の考えは。

生涯学習課長 現在のところない。

問 世代交流いきいきプラザの利用状況、予約状況は。

町長 子育て支援センターでは、8月末までの自由来館者は2024組、計4512人が利用。一般開放の元氣サロンは8月末で186件、延べ4046人の利用があった。



さとう ひさ
佐藤 貴久



一般質問

問 町民学園事業内容を 疑問視する

答 見解の相違です

①「おおがわら町民学園」の事業内容を疑問視する。事業のあり方を問いたです。

問 対象事業参加者に、ポイントカードに関する考えを事前調査したのか。

町長 事前調査は行っていない。

問 ボランティアグループから、ポイントを付与してほしいと要望があつたのか。

町長 特に要望はなかった。

問 ポイントカードの実務

的处理で職員の負担増にはならないのか。



▲開園を祝うカトレアコーラスの歌声

町長 負担増にはならないと判断している。

問 来年度の事業費の概算はどのくらいにふくれあがるのか。

町長 まだ概算していない。

問 この事業は、参加者にしか恩恵がない。公平性が担保されないのではないのか。

町長 現実的には、かたよりができるかもしれない。

問 町民の自主的、主体的活動意欲は高まるか。減ずる施策と断じざるをえない。

町長 見解の相違です。逆に意欲が増すと考える。

問 認定基準を明確にし、介護予防、健康増進に特化した事業にすべきである。

町長 見解の相違。参加者を拡大する方向性でいく。

②長期的財政見通しを改めて提示すべきではないか。

問 鷺沼雨水排水事業の起債償還計画を示してほしい。

町長 当町の負担金は約20億、償還計画は示していく。

問 仙南クリーンセンター整備事業の来年度の負担増は。元利償還金がピークになるのは、何年後からか。

町長 来年度は7500万の負担増。ピークは6年後の30年度より始まる。

問 生産年齢人口の減少が町税に影響を及ぼす。予測データは構築しているか。

町長 30年度までは、概ね100人ずつ減少すると予測する。

問 町長公約と重点プロジェクトはお金のかかる事業が多い。人口減の町の未来図を描いてみてはいかがか。

町長 重点プロジェクトの事業費総額は38億3900万。10カ年財政計画は4月頃に示す。

問「非核・平和の町」を 宣言している町として

答 平和の大切さを様々な形で訴える



まん なみ たか こ
万波 孝子



一般質問

戦争後日本国民は「政府の行為によって再び戦争の惨禍を起こすことのないやうにする」(憲法前文)ことを誓って戦争を放棄した。二度と戦争は繰り返さないという不戦を誓った憲法9条を持つ国である日本は、今戦争か平和の重大な

歴史的岐路に立たされている。何よりも平和が一番である。平和を願って質問する。

問 「戦争する国づくり」を意味する集団的自衛権行使容認の閣議決定を町長はどう考えるか。



▲平和はみんなの願い

町長 私個人の見解としては、日本が戦争に巻き込まれる可能性が高まることが懸念され判断は難しいが、拙速で国民に対しては説明不足で、国民理解が難しい状況にあると考えている。

問 「非核・平和の町」を平和の取り組みを通じてもつ

10年前に開設した絵本のへや、 廃止ではなく存続を

町長は存続の請願が可決されているのにこれを無視して、図書館本館、いきいきプラザ、公民館に絵本コーナーを設け、絵本のへやの機能も分散できると言うが、以下質問する。

問 10年前に図書館本館にあつた絵本のコーナーを現在の場所に開設した経緯は。

町長 管理会社から空スペース活用の要望が町にあつた。また、閲覧スペースや資料を増やせる棚、読み聞かせの場所、ボランティアや職員が作業及び倉庫とし

と町民にアピールしては。

町長 戦争の悲惨さと生命の尊さ、平和の大切さをさまざまな形で町民に訴えたい。来年は終戦70周年を迎えるので広報で取り上げてPRする。

て使用できる場所がないなどの課題があり、相互利益のため開設した。

問 いきいきプラザや公民館に絵本コーナーを設けることは当然であり賛成。しかし図書館本館や各施設に絵本は分散できても、絵本のへやの機能は到底分散できるものではない。請願に応えるためにも再考を望む。

町長 親子やボランティアが読み聞かせできる。絵本の蔵書が充分である、ただし司書と相談する機能は本館だけとなる。



まる やま かつ とし
丸山 勝利

問 「絵本のへや」の 存続の再考を強く望む

答 再考するつもりはない

問 世代交流いきいきプラザの建設計画時には子育て支援室だけで「絵本のへや」の移転計画はなかったはず。26年度予算も1年分予算計上して、予算委員会で移転の説明もなく26年度予算が可決されている。何時、何処で廃止、移転が決められたのか。

町長 6月議会の一般質問でも説明しましたが3月で10年契約が切れること、また、子育て支援室と利用者の重複が見込まれるので移転を決めた。説明不足や計画に問題があったことに対し改めてお詫びする。

問 世代交流いきいきプラザのロビーに無理やり「絵本のへや」のスペースを詰め込んでも「絵本のへや」の機能は発揮できない。一度計画をもとに戻して、計画立てて「絵本のへや」の運営方法、在り方やオーガナ内場所なども含めて、順序良く計画を進めてはどうか。

町長 移転分散は決定事項なので、このまま進めていきたい。

問 6月議会で「絵本のへや」を守る会より存続の請願が出され、9対4で可決されているが、議決をどのようにとらえ、議会をどの

ように考えているのか。

町長 議決は重く受け止めている。と同時に説明不足や進め方に問題があったことは反省している。議会は尊重するが私も二元代表で選ばれているので、私の計画を進める。

問 あらためて、大河原町の幼児と未就学児の情操教育の充実の為「絵本のへや」の廃止、移転計画を再考するつもりはないか。

町長 考え直すつもりはない。



一般質問



▲絵本のへや

問 小中学校トイレを 早急に洋式化へ

答 計画的に取り組んでいく



す どう 須藤
しん 慎

問 町内小中学校の洋式化がどの程度進んでいるのか。

教育長 全体数に対する洋式トイレの数の比率は、

	児童生徒用	職員用	体育館
大中	25.5%	33.3%	0%
金中	14.8%	0%	33.3%
大小	67%	66.7%	0%
南小	34.8%	28.6%	33.3%
金小	38.7%	0%	33.3%

問 早急に洋式化を図るべき。

町長 順次計画的に洋式化していきたい。

問 職員用トイレも未だ全て和式の学校もあるが早急に洋式化を。



一般質問



▲洋式トイレは1つだけ 大中生徒用女子トイレ

教育長 洋式トイレが無いという状況はできるだけ早く解消すべきと考えている。

問 トイレ改修整備計画を立て計画的に整備すべき。

教育長 今後改修計画を

立ていく。

問 保健室・図書室へ早急にエアコン設置が必要。

広島市土砂災害を受けて

平成21年に土砂災害警戒区域等指定箇所として稗田前・上谷前・堤・新寺の12箇所が指定されている。

問 土砂災害警戒区域内の人家戸数と人口を尋ねる。

町長 138戸・497名。

問 急傾斜地崩壊危険箇所内に稗田前集会所があるが、これはいかがなものか。

入湯税を活用して消火栓設置を

我が町の重要な観光施設「とんとんの丘もちぶた館」が焼失した。この際消火栓から放水までの距離が遠かったこと、更に高低差により水圧が低下した。

問 施設周辺に入湯税を活用し、新たな消火栓を設置すべき。また県道蔵王大河原線拡幅工事が行われている。

教育長 早急に空調設備を整えたいと考えている。

地区から新たな場所への建て替え要望も出ているが、早急に要望に応えるべき。

町長 今後検討していく。

問 町防災計画とは別に「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を策定すべき。

町長 指摘のとおり作成する必要があると考えている。

るため、これを機会に消火栓の位置を再度見直す必要があると考えている。

町長 新たな消火栓を設置することは住宅事情や地形上難しいが、県道拡幅工事の状況も考慮しながら現行の水利状況の再点検と更なる消防水利の確保に努める。



おかざき
岡崎

たかし
隆

問 鷺沼排水区事業の再精査を急げ

答 両町で十分に協議を重ねる

鷺沼排水区公共下水道雨水整備計画は平成16年に基礎調査が始まり、昨年度工事着手に至った柴田・大河原両町が65億円（大河原負担分36億8千万）を投じて行う大規模事業である。この事業は、平成39年度までに稗田前・西原前・高砂町・柴田30区の抜本的な雨水対策の取り組みであるが、想定する雨量は昭和50年当時の7年に一度経験するであろう時間雨量51ミリに対応するための計画であり、近年地球環境は激変し、計画策定時に予想もできなかったゲリラ豪雨等の極端な気象現象をみれば、工事の再精査は当然であると考え

鷺沼排水区公共下水道雨水整備計画は平成16年に基礎調査が始まり、昨年度工事着手に至った柴田・大河

ので質問する。

問 昨年度の工事の成果はどうだったか。

町長 館山下県道とJR間の狭あい箇所解消と、排水路の線形の改善が行われ、最下流部において大きな成果があった。

問 人件費、資材の高騰、震災後の地盤の変化等により予算不足も考えられるが、担当課の認識はどうか。

町長 震災後の人件費、資材等の高騰は目を見張るものであり、地盤等も調査により軟弱で、地下貯留タン

ク埋設には予算を大きく上回る箇所も発生する見込みである。

問 そうであれば地下埋設ではなく費用の安い地上型の調整池に計画を変更するなど、今後柴田町との協議は不可欠であり、計画そのものが脆弱であれば下流部分からの工事にこだわることなく、被害の大きな箇所

を優先し、局地的な雨水対策が最大限の費用対効果を生み出す可能性についても検討すべきである。

町長 今後事業費の見直しを図るべく、施設の構造施工方法、優先箇所を両町で十分に検討、協議を重ね、税金の無駄遣いとならないよう事業を精査し、進めていく。



▲鷺沼排水路(県道上流側)

一般質問

仙南夜間初期急患センター 整備工事始まる

平成27年3月オープン予定

建築工事、外構工事、機械設備工事、電気設備工事

木造平屋建て、延べ床面積284.86㎡(約86坪)

診察室3室、X線撮影室、処置・点滴室、検査室、調剤室、事務室、医師事務室、待合室外

- 契約金額：90,504,000円(消費税含む)
- 契約の相手方：(株)武藤工務店
- 工事期間：平成26年8月5日～平成27年1月30日まで
- 工事場所：大河原町字東423番地(中核病院敷地内)

大河原町が公の施設として平日夜間診療所を運営します。

効率的で透明性のある経理が求められることから、一般会計と区分した特別会計を設置。



▲おおがわら町民学園が開園

9月会議

一般会計主な補正予算

収入

社会保険番号制度システム 整備費補助金	897万円
農地台帳システム整備事業 補助金	205万円
エコ支援事業助成金 (コカコーラ財団)	2995万円
臨時財政対策債	3800万円
財政調整基金繰入金	△542万円

支出

弁護士委託料	50万円
電気自動車充電設備設置工事	400万円
社会保険税番号制度・地方 税システム改修委託料	380万円
社会保険税番号制度・住民 基本台帳システム改修委託料	800万円
社会保険税番号制度・番号 連携サーバー整備委託料	180万円
仙南夜間初期急患センター 事業特別会計繰出金	960万円
予防接種委託料	1095万円
太陽光発電設備設計委託料	285万円
太陽光発電設備設置工事	2808万円
大中相談室間仕切設置・ト イレ洋式化改修工事	225万円
おおがわら町民学園商品券代	100万円

質疑

問 エコ支援事業として、コカ・コーラから2995万円の助成金があったが町が選ばれた理由は。

答 この事業は今年で3年目。申請して採択された。大小に太陽光発電を設置する。

問 電気自動車充電設備を役場敷地内に設置するが、町内における電気自動車の普及率は。

答 町内の状況は把握していない。この事業は普及促進も兼ねている。

問 町民学園がスタートするが、障がい者が参加できる事業になっているか。

答 今後、当然ながら考えていく。

〔反対討論〕

万波 孝子

国庫補助で社会保険税番号制度システム整備費が計上されているが、この制度は、税と社会保障の個人情報を一括管理し、徴税強化給付抑制を狙うと共に権力による国民監視やプライバシーの漏洩などが危惧されている。国の方針と言えども導入する必要性はない。

委員会調査 町への提言



総務文教常任委員会

生涯学習施設の 有効活用を

8月5日、役場庁舎内委員会室で担当課より駅前図書館、世代交流センターの状況説明を受けた後、現地調査を行った。

調査事項は

- ① 駅前図書館と絵本のへや
 - ② 世代交流いきいきプラザ
- についてであった。

調査結果は

① 本館は「絵本のへや」から本を移動するため既存の本の除籍整理が行われており、現状でも手狭だが更に手狭感がある。「絵本のへや」は無人となり雰囲気は暗くなり入りづらい状況のようである。

② 子育て支援センターと2つの児童クラブが運営を開始しており、児童クラブはほぼ定員いっぱいである。元気サロンの利用状況は進んでいるようであるが調理実習室の利用が少ないよう



▲世代交流いきいきプラザ

である。独自事業など積極的に行つて多くの町民に利用されることを望む。また「絵本のへや」から移動された本がロビーに並べられている。読み聞かせが行われているがロビーではなく子育て支援室で「絵本のへや」とは別のボランティアによって行われているようである。

産業建設常任委員会

工業団地整備で 企業誘致の促進を

7月18日、役場庁舎内委員会室で担当課より川根工業団地の状況説明を受けた後、現地にて整備状況の調査を行った。

調査事項は

- ① 川根工業団地整備事業の進捗状況
 - ② 企業誘致・事業拡大支援の現状と課題
- についてであった。

調査結果は

① 川根地区は町で唯一の工業団地となっており、現在6企業が立地している。現在企業誘致が可能な土地は、約7万4500㎡程度であり、町有地を除くほとんどが私有地の畑である。宮城県醤油醸造協同組合工場跡地、宮城県味噌醤油工業組合グランド跡地を工場誘致用地として土地開発基金で保有しており、うち道路用地分については基金から一般会計への買い戻しを完了している。



▲川根工業団地

② 誘致候補の町内企業に訪問し、前向きに検討する旨の回答を得たが、8月末に意向の確認に赴く予定。既存の企業より町道の早期完成の要望と、それに伴い接道するための町有地の取得の意向の申し出がある。雇用の拡大に直結することからも前進に向けスムーズな交渉を行うべきである。また、交渉中の町内企業に限定せず公募も含め売却、整備の方針も調整すべきである。誘致、事業拡大につなげるためにも周辺町道の整備は欠かせない、早急な整備に努めるべきである。

《平成26年第2回定例会(8月会議)・第3回定例会(9月会議)議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枡 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 巖	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇
工事請負契約の締結(仙南夜間初期急患センター整備工事)	8/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
訴えの提起(公金横領事件)	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別改正条例の制定について	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成26年度一般会計補正予算(第3号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
平成26年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成26年度地方卸市場事業特別会計補正予算(第1号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成26年度水道事業会計補正予算(第1号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度一般会計決算認定	9/19	認定	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	×	議
平成25年度介護保険・後期高齢者医療・国民健康保険・地方卸売市場事業・公共下水道特別会計決算認定、平成25年度水道事業会計剰余金の処分及び決算認定	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
教育委員会委員の任命	9/19	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
工事請負契約の締結(町営稗田前住宅外壁等改修工事)	9/19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結(役場庁舎太陽光発電設備設置工事)	9/19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結(川根工業団地線整備工事)	9/19	可決	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	議
公金横領事件に関する調査特別委員会調査報告	9/19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
「手話言語法」制定を求める意見書案	9/19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席、除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

議決責任の明確化

「公金横領に関する調査特別委員会」報告書

昨年6月に発覚した元徴収嘱託員による公金横領事件の報告を受け、平成25年7月29日に特別委員会を設置し、平成26年7月25日まで計11回の委員会を開催し、調査を行ってきた。

1点目は、公金横領事件の解明と再発防止対策についてであり、大河原町公金横領事件再発防止対策委員会による、不祥事を起こさない職場づくり・体制づくり、職員の倫理観の一層の向上に向けた取り組みを期待するもの。

2点目は、事件に対する取り組み状況についてである。町は元徴収嘱託員について、平成25年7月8日付で懲戒解雇処分。その後、業務上横領罪、虚偽有印公文書作成罪・同行使罪で起訴、懲役2年6月、執行猶予5年が言い渡され、横領したとされる金額106万5000円のうち、32万1500円が未回収となっている。現状では債務の弁済は難しいものと思われるが、自治体として、債

権回収に向けてやるべき手続きを踏んでおくことは重要であり、民事訴訟の提起・検討には理解を示すところである。早期の全額回収へ向けた努力を続けていくべきであり、今後の状況等について、町議会として、逐次報告を求めていく。

今後は二度とこのような事件が発生することの無いよう、法令の順守と職員の意識向上に努められるよう強く提言する。

意見書

「手話言語法」制定を求める意見書案

提出者 岡崎 隆

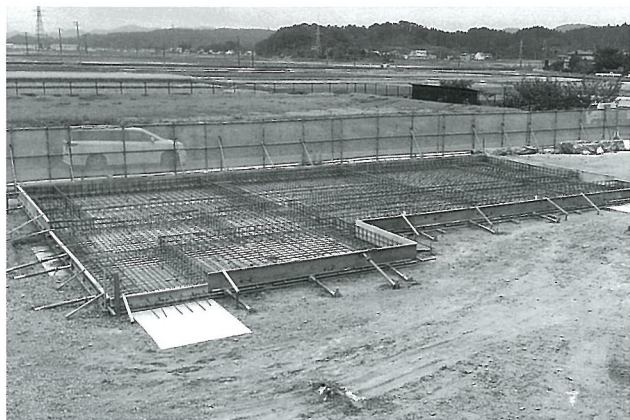
政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求める。

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

その後どうなったあの提言

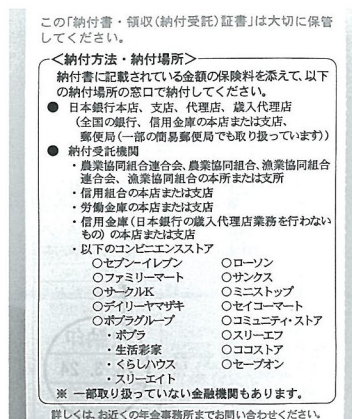
議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

西地区(橋本)交流センター



▲整備が進む西地区交流センター

税等のコンビニ収納



▲コンビニ納付のできる国民年金

提言

町内にある集会所、生活センターの中で一番古いのが橋本生活センターである。

利便性の高い平地への集会所及び公園の建設を望む。

平成22年
12月

平成27年
利用開始
予定

追跡結果

解決

24年度：整備用地取得
25年度：建築設計及び造成設計・工事
26年度：建築工事
27年度：利用開始（予定）

提言

税等の収納率向上と収納者の利便性を考えて、コンビニでも支払いができるようにすべきである。

平成22年
9月

平成26年
10月現在

追跡結果

未解決

新行財政改革大綱の中には盛り込まれているが、何年度からスタートできるのか見通しは立っていない。

議会報告会、 研修会を開催します

議会報告会 テーマ「子育て支援について」

15人の議員が3班に分かれて、6会場で開催します。

- 11月21日(金)《西桜集会所・上町集会所・丑越集会所》
- 11月22日(土)《金ヶ瀬中央集会所・世代交流いきいきプラザ・住吉町研修交流センター》

※いずれも開催時間は午後7時から午後8時30分です。

みなさんの声を
聞かせてください。

議会研修会

日時場所：平成26年11月17日(月) 午後1時 役場3階大会議室

内 容：(仮)議会改革について

講 師：議会ウォッチャー・仙台

どなたでも参加できますが
事前にご連絡をお願いします

12月議会のお知らせ
招集日 12月10日(水)・再開日 12月16日(火)
詳細は議会事務局まで ☎53-2800

永年在職議員の表彰

平成26年5月1日付で在職25年を迎えた「秋山昇議長」と「万波孝子議員」が、大河原町議会先例集の規定に基づき、表彰されました。

ぼくは、大河原町が大好きです。一目千本桜がきれいなところや、町の人がやさしくてあいさつを返してくれるところなどたくさん好きなのがあります。もつと良い町になるには、デイズニーやユニバーサルスタジオみたいな大人も子どもも楽しめる大型の遊園地をつくると良いと思います。そうすると、他の県や外国からもたくさん人が来て、大河原町がもつとにぎわうからです。オータムフェスティバルなどのイベントを盛り上げる工夫をするのも良いと思います。ぼくもアイデアを出していきたいです。



大河原南小
我妻 真矢

私も、私の父、祖父、祖母も、ずっと大河原町に住んでいます。みんなこの町が大好きです。他県出身の母もとても良い町だと言っています。もつと良い町になるために提案が二つあります。一つ目は空き店舗をおしゃれな服などを売る店にすること。二つ目は体育館やスタジオを増やして、ダンスなどみんなができる環境にすることです。そうすれば、今よりもっと町が活気づき、いるだけで楽しくなると思います。私達が将来の大河原町を支えていけるように、今できることを精一杯がんばりたいと思います。



大河原南小
佐藤 円香

こんな町に住みたい



(佐久間克明)

「仙南の雄・大中」。今も大切に伝統が引き継がれていました。私も身震いした思い出があります。頑張れ、後輩たち

今回の表紙は



編集発行責任者		議長	秋山 昇
議会広報編集特別委員		委員長	岡崎 隆
副委員長		委員	佐久間 克明
委員		委員	万波 孝子
委員		委員	高橋 芳男
委員		委員	大沼 忠弘
委員		委員	須藤 慎